

Defi Star Tour アプリのご使用方法

ご使用前の準備

① アプリインストール

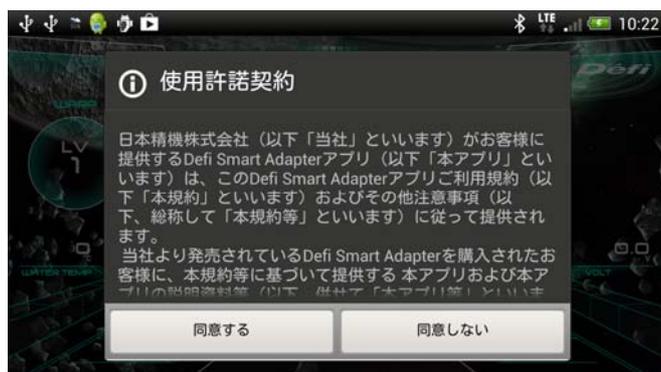
Google Play アプリを起動し、検索で“Defi Star Tour” と入力すると検索できますので、インストールしてください。

② Smart Adapter とのペアリング

Smart Adapter の動作表示インジケータが1秒に1回の点滅をしていることを確認し、携帯端末の Bluetooth 設定から端末のスキャンを行って、“Defi BT-Adp **BT アドレス**”とペアリングしてください。ペアリング時に PIN コードを要求されたら、“0123”を入力してください。ペアリング方法の詳細は携帯端末の取扱説明書を参照ください。

【Smart Adapter との接続】

① アプリを起動しますと使用許諾が表示されますので、記載事項に同意していただけたら、『同意する』をタッチしてください。



注：SD カードがないとアプリが動作しません。

② 携帯端末のメニュースイッチを押すと画面下にメニューバーが表示されるので、『通信』にタッチし、『Defi BT-Adp **BT アドレス**』が表示されるので、タッチしてください。

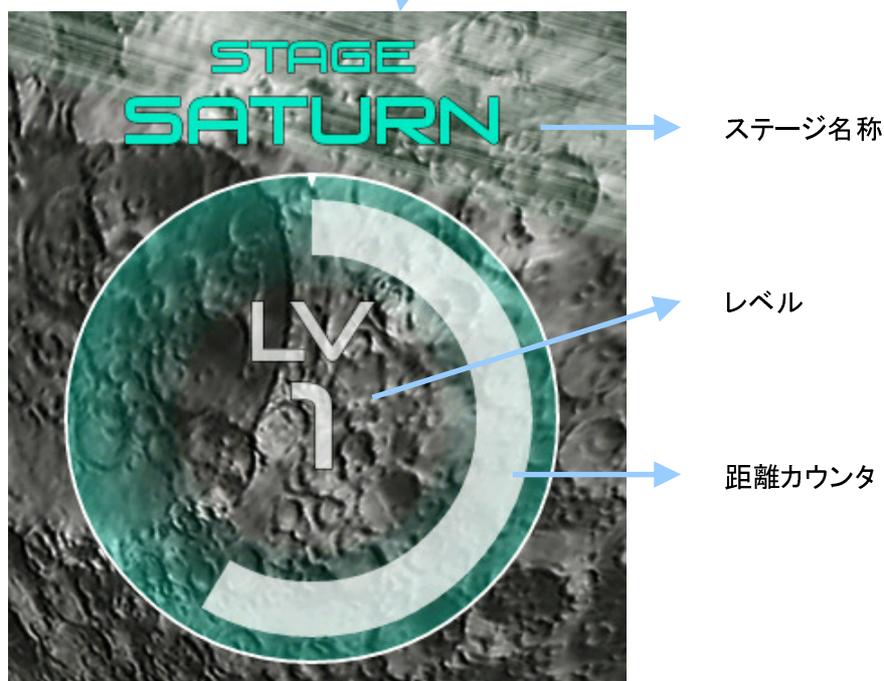


コックピットイメージ



- ① 車速表示部
- ② サークルゲージ左 表示機種変更可
- ③ サークルゲージ右 表示機種変更可
- ④ バーゲージ左 表示機種変更可
- ⑤ バーゲージ右 表示機種変更可
- ⑥ 縦 G ゲージ
- ⑦ 横 G ゲージ
- ⑧ レベル表示、距離カウンタ表示
- ⑨ ステージ名称 (MARS、SATURN、EARTH)
- ⑩ REC タイム表示 (ADVANCE システムにリンク接続して使用の場合)
- ⑪ インフォメーション表示 (ワーニング状態表示、ウォームアップ状態表示)

【ワープ機能】



レベルは 1 からスタートし、最高レベルは 10 までです。

距離カウンタが最大までカウントされると、ワープ(画面遷移)します。

レベル表示部分をタッチすると、レベル初期化確認ダイアログが表示されます。

『ワープ条件の説明』

良い運転(Gセンサーの増減が少ない)を継続して走行した場合、良いワープ(画面遷移)

悪い運転(Gセンサーの増減が大きい)を検出した場合、悪いワープ(画面遷移)

STAGE EARTH で良い運転を継続すると、レベルがアップします

STAGE MARS で悪い運転を行うと、レベルがダウンします。

レベルが高いほうが、良い運転の範囲が厳しくなり、距離カウンタがされにくくなります。

【表示機種変更】

表示画面の機種表示4箇所について、表示を変更したい数値表示部分をタッチすると、表示機種を選択できます。中央の車速表示部分は変更できません。

・表示変更可能4箇所で、選択できる機種

ADVANCE とリンク接続時

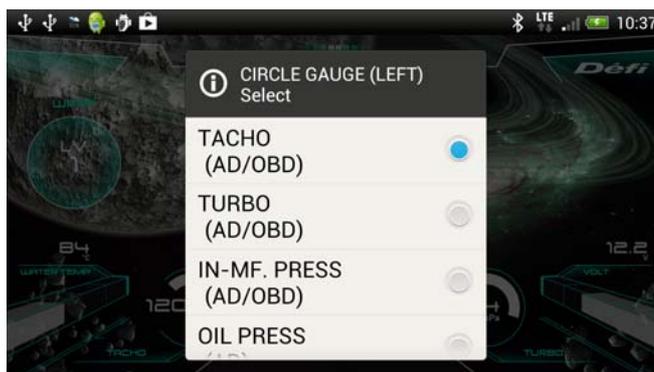
車速、タコ、ターボ、インマニ、油圧、燃圧、油温、水温、排気温度、電圧、ギアポジション

OBD II 接続時

車速、タコ、ターボ、インマニ、燃圧、水温、電圧、

スロットル開度、吸気温度、ギアポジション

※ OBD II 接続時の表示機種は、車種によって表示できるものとできないものがあります。



【ワーニング設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ単押し)

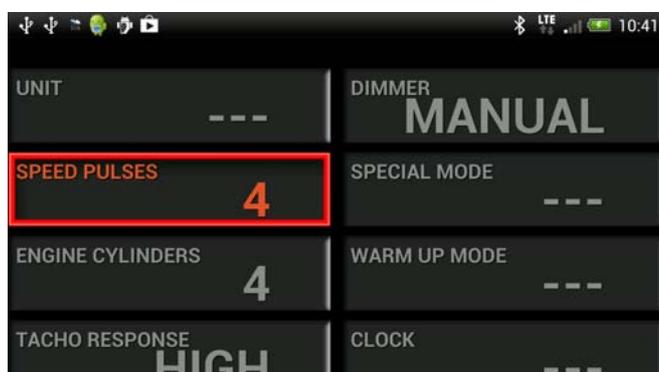


デジタル数値機種がワーニング状態と判定されると赤色で表示され、タコメーターがワーニング状態と判定されると、タコインジケータが赤色で表示されます。

詳細は ADVANCE コントロールユニットの操作説明を読んでください。

設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

【システム設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ長押し)



コントロールユニットの UP/DOWN スイッチで項目を選択し、WARN SET スイッチを押すと設定内容を変更できます。設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

表示	設定	設定値
UNIT	単位設定	※
SPEED PLUSES	車速パルス設定	2,4,8,16,FREE
ENGINE CYLINDERS	気筒数設定	1,2,3,4,5,6,8
TACHO RESPONSE	タコメーターレスポンス設定	HIGH,MID,LOW
DIMMER	調光設定	※
SPECIAL MODE	スペシャルモード設定	※
WARM UP MODE	ウォームアップ設定	※
CLOCK	時計設定	※

※ADVANCE ZD での設定項目で、本アプリでは設定できません。

- ・ 車速パルス設定
車の仕様に応じて変更する必要があります。日産車以外では4パルス設定に設定してください。車速パルスが分からない場合や、補正したい場合は FREE を選択し、60km/h で走行中にその時入力されている車速パルス情報を 60km/h と記憶して設定することができます。
- ・ 気筒数設定
エンジン気筒数に合わせて設定してください。
(点火信号を入力している場合は、1または2気筒設定で正常に動作する場合があります。)
- ・ タコメーターレスポンス設定
タコメーターの応答性を設定します。HIGH にすると応答性が速く、LOW にすると遅くなります。

【車速、ターボ計、タコメーターのフルスケール変更】 メニュースイッチ→『設定』→

- 『車速スケール』 : 車速のフルスケールを 180、240、300、400km/h の 4 種類から選択できます。
- 『ターボスケール』 : ターボ計のフルスケールを 200kPa、120kPa の 2 種類から選択できます。
- 『タコスケール』 : タコメーターのフルスケールを 5,000、7,000、9,000、11,000rpm の 4 種類からから選択できます。



【OBD ワーニング設定】 メニュースイッチ→『設定』→

OBD II に接続して使用してる場合に、OBD ワーニング設定が有効になります。

- 『TACHO』 : エンジン回転数のワーニング設定 0 ~ 11,000rpm
- 『TURBO/IN-MANI』 : 吸気圧のワーニング設定 -100 ~ 155kPa
- 『FUEL PRESS』 : 燃圧のワーニング設定 0 ~ 600kPa
- 『WATER TEMP』 : 水温のワーニング設定 0 ~ 150°C
- 『THROTTLE』 : スロットル開度のワーニング設定 0 ~ 100%



【ウォームアップ設定】 メニュースイッチ→『設定』→

『ウォームアップ表示』 : 水温、油温、水温+油温、OFF のいずれかを選択します。
ウォームアップ表示で選択された機種は、以下の設定温度に達するまでウォームアップ中
(暖気中)と判断され、デジタル表示値が青色で表示されます。

『水温設定値』 : 0~150°C (32~302° F) の範囲で設定できます。

『油温設定値』 : 0~150°C (32~302° F) の範囲で設定できます。



ウォームアップ中表示

【ギアポジション設定】 メニュースイッチ→『設定』→

『ギアポジション表示』

: チェックボックスにチェックすると、ON になります。

ギアポジション表示を ON にすると、メーター表示画面でワーニングインジケータの位置に、現在のギアポジションが表示されます。

『ギアポジション適用範囲』

: 最高ギアが何速まであるかを設定します。

『ギアポジション算出用車速入力』

: 各ギアポジションで、エンジン回転数が 2,000rpm のときの車速値がいくつかを入力します。この設定を行わないと、ギアポジションが正確に表示されません。



【システム設定】メニュースイッチ→『設定』→

『Bluetooth 自動接続』

: チェックボックスにチェックすると、ON になります。
Bluetooth 自動接続を ON に設定すると、アプリ起動中に Smart Adapter との接続が切断されている場合に、自動で接続されるように動作します。

『使用許諾契約書スキップ』

: チェックボックスにチェックすると、アプリ起動時に表示される使用許諾ウィンドウが表示されません。

『パワーセーブモード』

: チェックボックスにチェックすると、スマートアダプターと接続中に、車速 0km/h が 10 秒以上続いたときに、バックライトを自動で暗くして消費電流を減らします。
ただし、携帯端末の機種によって正常に動作しない場合があります。

『OBD 車速補正』

: OBD II に接続して使用している場合に有効になります。
OBD II から入力した車速値に対して、-10%~+10%の範囲で補正できます。
初期値 : 3%



『取付位置キャリブレーション』

: 携帯端末の G センサーを取り付け位置に応じてキャリブレーションします。
設置された状態での前後左右 G を 0 として記憶します。

